



西小だより

山形市立西小学校

令和8年1月30日

校長 小林 聡

令和8年の干支は丙午（ひのえうま）。2つの火の力が重なり、最もエネルギーが巡る1年とされています。職員一同、情熱をもってがんばってまいります。今年もどうぞよろしく願いたします。

笑顔が 元気と勇気を与える

いのちとは、自分で使える時間です
時間を大切に使うことは、いのちを大切に使うことです
さらに、そのいのちを自分以外のために使うことを学んでほしい

このように子どもに伝えているのは、聖路加（せいるか）国際病院理事長・名誉院長 日野原重明さん（2017年105歳没）です。24日（土）、NHK「時をかけるテレビ～日野原重明 100歳のいのちのメッセージ～」が放映されていました。100歳で現役医師を続けるその生き方、考え方、患者さんへの言葉がけに改めて感銘を受けた60分でした。末期がんの患者さんが笑顔になり「がんばろう」という気持ちになるのは、日野原さんの健康的で柔らかい笑顔と、朗らかに語りかける前向きな言葉でした。そして、それは何より患者さんを思う深い心根の表れだろうと思いました。

日野原重明

ふやすなら
微笑みの
しわを



『ハルメク』
2021.12.13
「日野原先生と月に
一度、10年間の差
向かいの30分」

ネットヨタ山形・高橋社長は年頭の挨拶で次のように述べています。

何かを決める時、つい「やり方」を決めがちだが、大切なのは「あり方」だ。顔は自分のものでも、表情は他人のためにある。周りの人は私の表情を見て元気にもなれば憂うつにもなる。自分の「あり方」を素直に謙虚に見つめ直し、すてきな笑顔と優しい心で一年をスタートしたい。 『山形新聞』令和7年1月1日「新年の抱負」

「親と教師の笑顔に比例して、子どもは伸びる」と言われます。家族や教職員の良い雰囲気と笑顔は子どもに安心感を与え、成長を促すということです。笑顔に囲まれ、笑い声の絶えない中で暮らす子どもは、自然と笑顔が増えるでしょう。笑顔で語りかけられると「よし、やってみよう！」という気持ちになるのは、子どもも大人も同じです。



だって えがおは えがおと
くっついて、
みんなで ひとつの
「おおきな えがお」を
つくれるから

にしむらゆうき『えがおずかん』

3学期が始まり、子どもたちの笑顔と元気な挨拶が増えてきたと感じています。誰でも自分の笑顔が人に元気を与え、背中を押すような勇気を与えられたら、こんなに嬉しいことはありません。笑顔で、一層つよくやさしくつながっていきましょう。

経験を土台にして 3学期の目標を堂々と発表

わたしは3学期クラスのみなんと力を合わせて、もっと楽しいクラスにしていきたいです。そのためにがんばりたいことが3つあります。

1つ目は、授業中に友だちとたくさん話していっしょに考えることです。分からないところを友だちと話して解決していきたいです。特に、わたしは算数が苦手なので、自分から「ここどうやるといいかな」と声をかけて最後まで考えたいです。

2つ目は、自分で考えて行動することです。3年生になって初めて総合学習が始まりました。先生にたよらずに自分たちで考えて活動を進めています。でも、2学期はチームで話し合いをしている時、友だちにまかせてぼーっとしていたり、友だちに聞かないと何もできなかつたりしていました。だから、3学期はこれから何をすればいいのか、チームで考えたことがうまくいなくてピンチになった時はどうすればいいのかを、自分でよく考えて行動できるようになりたいです。

3つ目は、自分からあいさつをすることです。朝、校長先生が立ってくださっている時に、元気にあいさつしたいのに、少し遠くにいると「聞こえなかったらちょっと気まずいなあ」とか「大きな声を出す勇氣もないなあ」と考えて小さな声になってしまいます。3学期は自分から元気にあいさつできるようにしたいです。自分の弱い気持ちを理由にするのはやめて、相手が気持ちの良くなるあいさつをしたいです。

3年2組のみなんと過ごせるのは、あと3か月です。4年生に向けて、みんなと一緒にレベルアップできるように、この3つのことにチャレンジしていきたいです。

3年 H.Rさん

「全校生の先頭に立つために」

私は2学期に運動会実行委員をしました。放課後おそくまで残らなければいけないし、やることがたくさんあるので、はじめは「大変だな」と思いながら仕事をしていました。でも、実行委員を3回経験したことで少しずつ「全校生を引っ張らなければ」という気持ちに変わっていきました。運動会が終わった後は、大変だったというより、「楽しかった。またやりたい」という気持ちが残りに、この仕事にとってもやりがいを感じました。

2学期の道德の時間に、先生が「5年生の3学期は6年生の0学期だよ」と話してくれました。それを聞いて、「今までは6年生に支えてもらったり、助けてもらったりしていたけれど、これからは私たちが全校生の先頭に立って行動していきたい」という思いをもちました。

3学期は、私たちが全校生の先頭に立つ大きな活動として、委員会活動があります。プロジェクト委員として、全校生にもっとあいさつの大切さを伝えられるように取り組んでいきたいです。また、5年生全体として6年生を送る会に向けて、自分から活動に参加して送る会を成功させたいです。そして、6年生が安心して卒業できるようにしていきたいです。6年生の0学期、自分から進んで学習や学校生活に取り組んでいきます。

5年 N.Hさん

雄大な自然とスキーを満喫

3年生わかば学年は21日(水)猿倉スキー場で、4年生にじいろ学年は29日(木)蔵王スキー場で、スキー教室を行いました。子どもたちはインストラクターの先生の話をよく聞きながら、どんどん上達していきました。山形の冬らしい美しい青空と厳しい寒さの中、子どもたちは最後まで元気に過ごし、雄大な冬山の自然とスキーの楽しさをたっぷり味わいました。

